

孫馬鹿のお話

第2班 じいじ

自分は、大卒後一年目の23歳で結婚をし、翌年長女を授かった。月日が経ち52歳の時に初孫が生まれ、「じいじ」となった。ちなみに妻は「ばあば」である。3年後にまた孫ができ、現在二人の女の子の祖父をやっている。わが子より孫の方が可愛いと実感している。

上の子の名は「にこ」。最初冗談かと思ったが娘はマジであった。現在13歳。下の子の名は「紗那」今時風かと思う。

娘夫婦は結婚して金町に住むこととなる。ところが東日本大震災の影響で付近が放射能に汚染（東京都の中でもハイレベル）された。近所の幼稚園の子が原因不明の鼻血を出したとかで、怖くなる。そこで千葉の実家の庭に離れを建てようと地質を調査したが、意外と数値が高く断念。連れの旦那の勤め先に支店への移動願を出したところ、受理され転勤となった。場所は何と明石である。遠すぎる。毎月会えていたのに年3回がやっと。寂し過ぎる。またコロナ禍で全く会えない時期もあった。悲し過ぎる。

新生活が始まり、子育てには明石は最高の環境である。少し前までは毎週末、家族でいろんな処へ出かけていた。ところが娘が突然教育ママと化す。水泳教室、そろばん、塾等、毎日忙しそう。ちなみに二人とも小学校のお受験で、神戸大の付属に入学した。10人に1人受かる確率である。凄すぎる。昨年マイホームを新築し明石に根付いてしまった。「にこ」の夢は東大に入る事。「紗奈」は吉本の踊れる女芸人になる事で、目下バレエ教室に通っている。

母は子を厳しく育てるのは宜しい。父がその分フォローすれば良い。祖父祖母は責任がないので、甘やかして良い。御蔭で懐いてくれる。未だに「一緒にお風呂入ろうとか、一緒に寝よう」とか言ってくれる。携帯の待ち受け画面も姫路城の前で3人で撮った画像にしている。さてこの先どれ位相手をしてくれるのが、心配だ。

ちなみに先日親族一同会して母の米寿のお祝いを行った。総勢30名、曾孫も10人になった。弟の所は娘二人なのに孫が5人もいる。羨まし過ぎる。自分の長男の孫に会えるのはいつになるのか、待ちどろしい。こどもの日は我が家ではもはや孫の日になっている。いやすべての行事が孫のペースで回っている。

今年から孫二人に、生前贈与的な保険に加入した。10年後に、1100万ずつ渡す予定である。本人たちにも伝えており、今から受け取る時の嬉しそうな顔が目浮かぶ。近頃、自分も曾孫に会えるよう長生きしたいと思うようになり、健康管理に気を付けるようになった。

以上、お孫さんのいない方には、大変申し訳ない文章であり、深くお詫び申し上げます。